

うめっこ育て隊日記 ㊶ 平成30年8月3日(金)



かわいい作品ができました

西保育園から「ままごと用の衣服が古くなったので、どなたか作っていただけませんか」と要請がありました。それを聞いたうめっこ育て隊のHさんから「公民館宮田学級の活動の一環で作るのはどうかしら」とありがたい提案をいただき、学級の皆さんの賛同を得て、手作りしていただくことになりました。

7月3日の学級の日、メンバーの皆さんは村民会館にミシンや裁縫道具を持ち込み、ワイワイガヤガヤ、実に楽し気に製作に取りくんできました。2時間後にはスカート、エフロン、人形用のおんぶ紐やお布団など13点以上が完成。

8月3日には西保育園で引き渡し式が行われ、子どもたちからはお礼の歌と、感謝のメダルが贈られました。その後は手作り品を身につけた子どもたちと交流の時間です。子どもの中には新品のスカートを気に入って手放せず、お友達に泣く泣く譲る姿も。メンバーは何をしてもかわいい子どもたちと笑顔で触れ合っていました。学級長さんは「こんなに喜んでもらえてうれしい。今回限りと言わず、今後もこの活動を続けていきたい。」と話していました。



子どもたちからのメダル



うめっこ育て隊日記 ㉗ 平成30年8月19日(日)



水平器で確認しながら、まずは地ならし



7口の作業は要領よく手早く進みます



ハードル収納小屋の完成です

今年4月下旬、中学校陸上部の先生から、「ハードルが雨ざらしで痛みが激しく困っています。ハードル30台が入る簡単な小屋を、どなたか作っていただけるとありがたいです」との連絡が入りました。上伊那建設労働組合の会長さんに相談したところ、快く引き受けてくださり、実施することに。当日は12人の会員の皆さんが参加し、8時から12時の予定が休憩も入れて10時半過ぎにはほぼ終了という手早さ。さすが7口の集団です。完成した収納小屋を前に「みんなによろこんでもらえたらうれしい。ぜひ運動を頑張ってもらいたい。」と温かい言葉をいただきました。

後日、生徒たちの感謝の手紙が送られました。



朝早くから作業をしてくださった皆さんです





今朝も早くから小学校を訪れた「まほうのくれよん」と「おはなし宅Q便」の皆さん。朝早くのご苦勞もあるかと思いますが、「読み聞かせをやって本当に良かった。孫も本が大好きで、良い影響を与えられたと思う。緊張しますが、児童が真剣に聞いてくれるので学校に来るのがとても楽しみ。メンバーの皆さんは研究熱心でついていくのは大変だけど、勉強になります。」と明るく話すHさん。

悲しい本を読むときは涙が出てきませんかと聞くと、「泣かないように感情を押さえて読んでいます」との返事。さすが、皆さん訓練されていますね。



この本も感動的なお話で涙を抑えるのは大変です





「そうっ、足を浮かしてごらん」



「先生、顔を水につけられるようになったよ！」



「スゴイ！よくがんばったね～」

小学校 1 年生のフール指導を支援する I さん。6 月 25 日から 8 月 27 日までの 8 日間、泳ぎが苦手な子供たちを指導してくださいました。最初の頃は顔を水につけられなかった子どもたちが、回を重ねるごとに次々とできるようになり、「先生見て見て！」と得意げに I さんに披露している姿が見られました。

炎天下での活動はシミが気になるはずですが、「暑いけれど子どもたちの「できるようになったよ！」という声でシミも疲れも吹き飛びます。この子たちの今後の成長がとても楽しみです」と、笑顔を見せる I さん。今年は特に気温が高く日差しも強かったので、疲労度も大きかったと思います。本当にお疲れ様でした。



最後は、みんなで丸くなって遊んだよ





① まずは中越の立体地図で説明



④ 「柎の実を煮るのも水が必要だね」



② 「この北側で湧水が出ていたんだ」



⑤ 「この北側にも水場があったんだ」



③ 「川に向かって道路が下がっているね」



⑥ 最後は土器を見せてくれました

小学校 4 年 2 組の先生から、宮田の歴史や伝説について学びたいので、どなたか教えていただきたいとの要請があり、歴史と言えはこの方、教育委員会の K さんをお願いしました。

とても暑い日でみんな汗をふきふき、水筒持参で、中越を歩きながら説明を聞きました。「遺跡とは、昔の人が何かした跡が残っている場所のこと。ここに遺跡があるのは高い場所できれいな水があったから。北側の高い方にきれいな水が湧き出て、低くなっているグラウンドの南側にも水が出ているが、飲み水と汚れてもいい水を使い分けていたようだ。木の実の毒(あく)を洗い流すのに大量の水が必要だった。土器の破片が大量に見つかっているが、これは木の実をゆでるのに使ったようで、ススで黒くなっている破片もあるよ」などという話をみんなメモを取りながら、真剣に聞いていました。知らないことばかりだったね。



資料を用意してくれました

宮田村の森林

宮田村の総面積は、450㍍
森林面積は、27.3%

宮田村の森林にはどんな木があるの？

樹種	割合
杉	42%
ヒノキ	18%
コナラ	12%
クヌギ	10%
トナリ	8%
その他	10%

森林の役割

①水源かん養
②気候調整
③土壌保持
④生物多様性
⑤気候変動緩和
⑥防災・減災
⑦観光・レジャー

森林の役割 2

①水源かん養
②気候調整
③土壌保持
④生物多様性
⑤気候変動緩和
⑥防災・減災
⑦観光・レジャー

森林の役割 3

①地域経済発展
②教育・研究機関
③観光・レジャー
④防災・減災
⑤気候変動緩和
⑥生物多様性
⑦水源かん養

森林の役割 4

①国土保全
②気候変動緩和
③生物多様性
④防災・減災
⑤気候変動緩和
⑥生物多様性
⑦水源かん養

森林の役割 5

①水源かん養
②気候調整
③土壌保持
④生物多様性
⑤気候変動緩和
⑥防災・減災
⑦観光・レジャー

間伐とは？なぜ間伐が必要？

間伐とは、木を間伐して、木を育てるための作業です。

間伐材の利用

・間伐材は、木材として利用されます。
・間伐材は、チップとして利用されます。
・間伐材は、チップとして利用されます。

宮田村の森林・林業の現状

・森林面積の減少
・木材需要の減少
・木材価格の下落

森林・山に興味を！

・森林は、私たちの生活を支えています。
・森林は、私たちの生活を豊かにしています。
・森林は、私たちの生活を豊かにしています。

6月の下旬に小学校6年2組の先生から、「総合的な時間を使って、宮田村の森林と間伐について学習したいので、支援をお願いしたい」と要請があり、座学を役場の建設課耕地林務係に、間伐の現場の学習を上伊那森林組合をお願いすることになりました。

この日は梅の子ホールで、林務係のIさんが座学を担当。村の土地の8割近くは森林であることや、森林の役割などについて分かりやすく説明し、みんな真剣に聞いていました。最後は質問も多く出て、Iさんは「分かってくれたかなあ。でも学習の役に立ててうれしいです。林務の仕事は奥が深くて面白いですよ。子どもたちが興味を持ってくれることを期待しています」と優しい笑顔で答えてくれました。

